

会員規約

2000年4月25日制定/2003年4月17日改訂

WIN (Women In Nuclear)-Japan 会規約

(位置づけ・名称)

第1条 第1条 本組織は、非営利団体で、世界組織WIN (Women In Nuclear)の日本組織であり、WIN-Japan (以下、本会という)と呼ぶ。

(目的)

第2条 第2条 本会は、活動の拠点を日本国内におき、一般の方々に対する原子力広報についての情報交換や成果の共有を図り、原子力平和利用推進の立場で原子力理解促進活動に貢献すること、及び世界組織WINの一員として、国際交流並びに国際理解を推進していく。また、これらの活動を通じて、会員の資質を高めることを目的とする。

(活動)

第3条 本会は、前条に規定する目的を達成するために、次に掲げる活動を行なう。

- (1) 一般の方々への原子力理解促進活動
- (2) 会員の資質を高めるための諸活動
- (3) その他この会の目的を達成するために必要な活動

(組織・会員資格)

第4条 本会は、正会員・準会員・賛助会員により組織する。

2. 正会員は、原子力・放射線の分野に職業として携わり、一般の方々への理解活動に関心がある女性とする。
3. 準会員は、職業に携った経験を有し、一般の方々への理解活動に関心のある女性とする。
4. 賛助会員は、本会の趣旨を理解しこの会の要請に応じて可能な範囲で支援を行なえる個人、企業、機関とする。

(役員)

第5条 本会には、正会員の中より次の役員を置く。

- (1) 理事…5名以上10名以内 (2) 監事…1名
2. 理事の互選により、1名を会長とする。
3. 理事及び監事は、総会において選出する。
4. 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

(総会)

第6条 第6条 総会は本会の議決機関であり、年1回、4月に会長が正会員を招集して開催し、次の事項について審議する。

- (1) 規約の改廃 (4) 当該年度の活動及び予算の方針
- (2) 理事の選出 (5) その他理事会が重要と判断した事項
- (3) 前年度の活動及び会計の報告

2. 総会の議長は、会長がこれに当たる。

3. 総会は、正会員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。

4. やむを得ない理由のため出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面により表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この場合、その正会員は出席したものとみなす。

(理事会)

第7条 理事会は、この規約並びに総会の議決にもとづき、本会の業務及び活動を執行する。

2. 理事会は、会長が招集し、年2回開催する。ただし、必要がある場合は、臨時で理事会を招集することができる。

3. 理事会は、理事の3分の2以上の出席により成立し、議事は出席理事の過半数により決する。

4. 理事の任期は2年とし、再任を妨げない。

5. 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(運営費)

第8条 本会の運営は、原則として正会員・準会員による活動に対する支援金、賛助会員の年会費および諸収入で賄う。

2. 正会員・準会員による活動に対する支援金は、運営費として当会に納めるものとする。

3. 個人の賛助会員の年会費は、5,000円とする。

4. 企業、機関の賛助会員の年会費は一口10,000円とし、一口以上とする。

(会計年度)

第9条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局・会計)

第10条 本会の事務局および会計は、日本原子力発電株式会社 広報室内に置く。

(付則)

第11条 この規定の施行に必要な細則は、別に定める。

2. この規約にもとづいて活動を行なうための諸規則・諸規定は、別に定める。

3. 細則及び諸規則・諸規定の制定並びに改廃は理事会が行ない、総会にて承認を受ける。

4. 本規約は、2003年4月18日より施行する。

以上

【お問合せ先】

WIN-Japan 事務局

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町1番地1

(日本原子力発電株式会社 広報室内)

TEL:03(4415)5200 FAX:03(4415)5290

<http://www.win-japan.org>

Women In Nuclear



WIN

Japan

原子力の仕事をする女性たち



エネルギーと環境の調和をめざして

■ご入会いただける方へ

当パンフレットをお読みいただいてご賛同を得られれば幸いです。
ご賛同いただいた方は、当会事務局までご一報下さい。手続書類等をお送りいたします。

いま私たちだからできること。

原子力をもっと正しく理解していただくために。

地球温暖化、人口増加によるエネルギー不足。

今、私たちが直面している問題を解決し、これからも人々が快適に暮らしていくために欠かせない技術である原子力。

わたしたちは、女性の視点と言葉で

より正しい理解への取り組みをすすめています。

WIN-Global

世界組織である「WIN-Global」の下で、57カ国・約2,000名の会員が活動しています。

WINとは

原子力や放射線利用に携わる女性による組織です。

原子力に対する一般の人々、特に女性の理解は十分とは言えません。そこで、「女性には科学技術や巨大産業に対する特有の見方・感じ方があり、女性や若年層に対しては女性に対応の方が成果が上がるのではないか」という考え方から、原子力発電や放射線利用の業務や研究に携わる女性による組織が設立されました。それが「WIN (Women In Nuclear)」です。

女性の立場を生かした活動を支えるネットワークです。

WINは、1993年2月、ヨーロッパを中心に設立されました。女性同士でネットワークをつくることによって、一般の人々への理解活動においてより成果を上げることを目的としています。

日本においても、2000年4月に「WIN-Global」の日本国内組織、「WIN-Japan」を設立しました。会員は、原子力・放射線分野において広報や技術開発などで活躍し、原子力の理解活動に関心のある女性たちです。会員同士の情報交換や相互支援の場を提供し、女性の立場を生かしたさまざまな活動に貢献しています。

目的

- 1.原子力理解促進活動への貢献
広く一般の方への原子力PA、特に女性や次世代層に向けての広報活動の実践や、情報交換を行なう。
- 2.会員の資質向上
原子力PAのノウハウやスキル・ツールを共有し、会員の資質を高める。
- 3.国際活動
「WIN」の一員として海外の原子力に携わるの女性との交流、国際理解活動を行なう。

主な活動状況

- WIN-Japan年次大会の開催



- WIN-Global年次大会への参加



- 女性交流会等の実施



「じっくり話そう、女性交流会」(水戸)



「ホソネで話そう、エネルギーや原子力のこと」(柏崎刈羽)

- 電子メールによる会員相互の情報の共有・発信等
- テーマ別原子力関連施設の視察
- ワークショップ(交流会等)の実施
- 講演会への講師の派遣
- 関連シンポジウム等への協力・参加

入会状況

役員



会長 小川 順子 (日本原子力発電(株))
理事 坂本 和子 (中国電力(株))
理事 佐々木 淑江 (日立製作所(株))
理事 千歳 敬子 (三菱重工業(株))
理事 西村 純子 (三菱電機(株))
理事 藤本 久美 (九州電力(株))

正会員 114名 / 準会員 5名 / 賛助会員 79名 / 組織会員 1組 (2003年8月現在)

会員所属先 (五十音順)	アイテル技術サービス(株) 核燃料サイクル開発機構 関西原子力懇話会 九州電力(株) 原子燃料工業(株) 原子力エンジニアリング(株) 原電事業(株) 四国電力(株) 全国電力関連産業労働組合総連 中国電力(株) 電源開発(株) 東京大学 (株)東芝 東北電力(株) (社)日本原子力学会 (社)日本原子力産業会議 日本レコード・マネジメント(株) (株)日立製作所 (株)ベスコ 北陸電力(株) 三菱原子燃料(株) 三菱電機(株) NSネット	エネルギー総合工学研究所 金沢工業大学 関西電力(株) (株)グローバル・ニウクリア・フュエル・ジャパン (株)原子力安全システム研究所 (財)原子力発電技術機構 原電ビジネスサービス(株) (株)社会安全研究所 地域環境・エネルギー研究所 中部電力(株) (財)電力中央研究所 東京電力(株) 東電ピーアール(株) 内閣府原子力安全委員会 日本原子力研究所 日本原子力発電(株) ピーエヌエフエルジャパン(株) 福井県環境・エネルギー懇話会 北陸原子力懇話会 北海道電力(株) 三菱重工業(株) 三菱マテリアル(株)